

迎春



謹んで迎春の
お慶びを申し上げます

筑紫野市長
藤田陽三

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中、市政にお寄せいただきましたご理解とご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

昨年7月の豪雨災害では、市内各地において被害が発生しました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。市としても、一日も早い復旧に向けて全力を尽くすとともに、今後も安全安心のまちづくりを努めてまいります。

さて、市役所は新年1月4日から新庁舎での業務を開始します。新庁舎は、「コミュニティとの連携拠点、市民の安全安心を守る防災拠点、行政サービスの拠点として、市民が集える将来を見据えたコンパクトな庁舎」を目指す姿として建設いたしました。分散していた市役所機能をできる限り集約し、来庁者の多い窓口を低層階に配置、効率的な窓口対応とするなど、市民の皆様が利用しやすい庁舎としています。

また、開庁に併せてコミュニティバス「つくし号」の運行を開始します。つくし号は、黄色

い車体で新庁舎をはじめ市内の主要な公共施設、商業施設、医療機関などを循環します。

新庁舎、コミュニティバスとともに市民の皆様が安心してご利用いただけるよう、きめ細やかな市民サービスの向上に、職員一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。

市政運営につきましては、「行政改革」「産業・雇用をつくる」「生活をまもる」「共助社会づくり」「未来をつくる」この五つを政策の柱としながら、少子高齢化・人口減少社会に向けた地域包括ケアシステムの充実や、地域産業の振興と雇用の創出、子

どもたちの健やかな成長を促す子育て支援と教育環境整備、男女共同参画社会づくりなど、災害対策と併せて早急に取り組むべき施策を着実に進めてまいります。

まちづくりの主役は市民の皆様お一人おひとりでございます。本年も市政各般に対するご指導をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、お健やかで素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。